

# ほうれんそう



《新・尼崎の本棚 135》

尼崎市立北図書館  
尼崎市南武庫之荘3-21-21  
TEL (06) 6438-7322  
FAX (06) 6438-7344  
<https://www.amagasaki-library.jp/>

## 田能遺跡からはじまった体験学習

博物館や美術館で、ワークショップなどを体験されたことはありますか。実はこのワークショップ・体験学習の元祖ともいえる活動は、田能資料館が先駆けだったことをご存じでしょうか。

それは1971(昭和46)年から実施された「土器・石器製作講習会」がはじまりでした。この講習会は全国的にめずらしい試みでした。始めたのは、当時学芸員だった福井英治氏。その頃の博物館活動といえば、講演会や展示会が中心でした。「見せる」「聞かせる」といった催しが一般的だった時代に、実際のモノに触れたり、作ったりする、考古学の実践を来館者が体験できることは非常に画期的でした。

来館者が参加・体験するミュージアムは、今では当たり前のように感じられますが、当時は時代を先取りしたものでした。現場は新しい企画のたびに、道具の製作や開催方法など、試行錯誤を繰り返したそうです。講習会では参加者とともに、弥生時代の技術を追体験しながら、驚いたり喜んだり、時に失敗して落胆することもあったとか。そんな紆余曲折の歴史がありました。

田能遺跡は1965(昭和40)年、工事中に偶然みつかった後、市民の保存運動によって守られた経緯があります。「田能遺跡を子どもたちに伝えたい」という市民の願いが実を結び、1970(昭和45)年に開館した田能資料館は、2025年で開館55年を迎えます。2015(平成27)年、円形住居の屋根の吹き替えをきっかけに、田能資料館サポーター倶楽部という市民ボランティア団体が組織され、みんなが楽しく学べる「体験学習」の現場で活動しています。

(「田能資料館図録」尼崎市教育委員会・尼崎市立歴史博物館田能資料館／編集・発行  
「田能資料館のトリセツ」尼崎市教育委員会・田能遺跡サポーター倶楽部／編集・発行)

### ●遺跡・遺物に関する本●

『田能遺跡 過去・現在・未来』	尼崎市教育委員会／編著	尼崎市教育委員会	330038175
『近畿の古墳と古代史』	白石太一郎／著	吉川弘文館	212294893
『図説 発掘が語る日本史4』	坪井清足／監修	新人物往来社	230174751

<図書館の休館日> 開館時間 午前9時～午後8時(日曜・祝日は、午後5時15分まで)

### 5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	③
④	⑤	⑥	7	8	9	10
⑪	12	13	14	15	16	17
⑱	19	20	21	22	23	24
⑳	26	27	28	29	30	31

### 6月

日	月	火	水	木	金	土
①	2	3	4	5	6	7
⑧	9	10	11	12	13	14
⑮	16	17	18	19	20	21
⑳	23	24	25	26	27	28
㉑	30					

### 五月：皁月

田をおこし、早乙女が早苗を植える月  
季語：風薫る、幟、葉玉、青葉  
歳時記：メーデー(1日)、水口祭り、みどりの日(4日)、初風炉、牛馬の節供、鶉飼開き、虎が雨(28日)、虫送り  
出典：「歳時記のある暮らし」坂東真理子／監修 JTBパブリッシング

印の日はお休みです

# ❁ 2025年 こどもの読書週間イベント ❁

【期間】4月25日(金)～5月28日(水)

【場所】北図書館1階

【対象】どなたでも

【申込】不要

「ことばあそび図書館へようこそ！」

北図書館がことばとの出会いでいっぱい！？

本のタイトルをしりとりでつなげて遊ぶ「しりとり DE じんとり」や、ことばあそびスペシャルおはなし会など、楽しいことばかり！ぜひ参加してね！

## ポップアップカードをつくろう！ ～しかけ絵本の世界～

【日時】5月3日(土)～5月5日(月・祝) 各日、午後1時～3時30分

【場所】3階集会室

【対象】どなたでも

【定員】なし

【申込】不要

簡単なポップアップカード作りを体験できます。出入り自由！

また、豪華なしかけ絵本など、普段は見る機会の少ない本を展示しています。



## 一日図書館員

【日時】5月18日(日) 午前10時～11時30分

【場所】北図書館

【対象】小学3～6年生

【定員】先着6人

【申込】5月5日(月・祝)～1階カウンター、または電話にて受付

☎ 06-6438-7322

カウンター業務や本探しなど、図書館スタッフのお仕事体験ができるイベントです！



### <5月展示のご案内>

一般大展示 「一瞬を切り取る ～レンズがとらえたもの～」

2階展示 「室町さんぼ ～落第忍者乱太郎を手がかりに～」  
「アオハル 春の新書まつり」



# 大人のための朗読会

【日時】 5月21日(水) 午後2時から1時間ほど

【場所】 3階 集会室

【内容】 『Presents』より

「名前」 角田 光代/著

『あえのがたり』より

「夢見の太郎」 今村 翔吾/著

朗読はボランティア「ま・どんな」のみなさんです。

※状況により、内容の変更・中止になる可能性があります。

人を読む

## 小野不由美

〔おのふゆみ〕1960年～大分県生まれ。小説家。『残穢』で山本周五郎賞受賞。『十二国記』シリーズで第5回吉川英治文庫賞受賞。著書に『屍鬼』『黒祠の島』『くらのかみ』『ゴーストハント』シリーズなど。

### 『営繕かるかや怪異譚』

小野 不由美[著]/KADOKAWA

祥子が死んだ叔母から受け継いだ古い家には、なぜか襖の前に桐箆箆が置かれた部屋がある。ふと気づくと中の襖が開いていて……。『奥庭より』『雨の鈴』など、住居にまつわる怪異を「営繕かるかや」の尾端が修繕していく全6篇を収録。『幽』連載を改稿し単行本化。

### 『残穢』

小野 不由美[著]/新潮社

「怖い話があれば教えてほしい」という作家の過去の呼びかけに、読者から怪異の体験談が届く。転居したばかりの部屋のどこからか畳を擦る音が聞こえるという。何の変哲もないマンションで起きる怪奇現象を調べるうち、「土地」を巡るある因縁に辿り着く。2016年1月公開映画の原作。

### 『過ぎる十七の春』

小野 不由美[著]/講談社

同じ年の従兄弟である直樹と隆は、もうすぐ十七歳の誕生日を迎えようとしていた。毎年訪れている隆の家に着いた直樹と典子兄妹は、隆が毎夜、庭を訪れる異端のモノの気配に悩まされていることを知る。その気配の正体とは？「呪われた十七歳」(1990年刊)の改題・大幅加筆した作品。

### 『はこ』

小野 不由美[作]・nakaban[絵]  
・東 雅夫[編]/岩崎書店

“なかみはどこにいったのかな？”ふるとコソコソ音がする開かない箱。雨の日、箱が開いていた。でも中はからっぽ。今度はひきだしが開かなくなった。ノックすると、カサコソ音がする。くもりの日、ひきだしが開いていた。中には小さな骨のかけらが……。【小学5～6年生から】

大谷大学在学中に、京都大学推理小説研究会に所属。同時期の部員には、綾辻行人・法月綸太郎・我孫子武丸らがいた。1986年に綾辻行人と学生結婚。1988年『バースデイ・イブは眠れない』で作家デビュー。1992年に十二国記シリーズの第1作『月の影の海』を発表。2019年にはシリーズ最新作『白銀の墟 玄の月』を刊行している。

# 児童室

## おはなし会



第1・第2・第3 土曜日 場所:3階集会室

おひざ (0~2歳くらい) 午後2:00~  
 小さい人 (3~5歳くらい) 午後2:15~  
 大きい人 (小学校低学年) 午後2:40~

5/3 (土・祝)  
 『ポップアップカードを作ろう！  
 ~しかけ絵本の世界~』  
 午後1:00~3:30  
 (受付は午後3時まで)  
 申込不要・時間内出入り自由  
 ※おはなし会はおやすみです



5/10 (土)  
 ●おひざのうえ

「まんま」  
 「つみき」

○小さい人

「みんなびっくり」  
 「おいしいおかゆ」

◎大きい人

「ルラルさんのじてんしゃ」  
 「おばさん、小さくなる」

5/17 (土)  
 ●おひざのうえ

「おかあさんどーこ？」  
 「ぶうさんのブー」

○小さい人

「バルバルさんとおさるさん」  
 「そらいろのたね」

◎大きい人

「すもうとりのでし」  
 「まめじかカンチルが  
 穴に落ちる話」



第1・第3 水曜日  
 あかちゃんひろば

場所:1階絵本コーナー  
 5/21 (水)  
 午前11:00~11:20

0歳~2歳くらいのお子さんと保護者向け  
 赤ちゃん絵本、わらべうた、手遊びなど  
 ※5/7(水)はおやすみです



第2・第4 日曜日

場所:1階ロビー2歳くらいから  
 5/11(日)、5/25(日)  
 午前11:00~11:20  
 季節の絵本や紙芝居など

2025年 5月



日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

※日・祝日は、午後5時15分まで